



明けましておめでとうございます



しばうら保育園4歳児・5歳児の皆さんと職員と区長 しばうら保育園は、平成27年10月に作られた保育園です。開閉式天井のある4階には、全天候型の園庭があります。

平成28年(2016年)の新春を迎え、皆様に謹んでごあいさつを申し上げます。

昨年は、港区と協定を結んでいる北里大学の
大村智特別栄誉教授がノーベル生理学・医学賞を受賞され、スポーツの分野では、イングランドで行われた「ラグビーワールドカップ2015」において日本代表選手が大活躍するなどの出来事に日本中が歓喜しました。港区と連携協力に関する協定を結んでいる北里大学や公益財団法人日本ラグビーフットボール協会の関係の皆様が素晴らしい業績を残されたことやご活躍されたことを、誠に喜ばしく思います。

港区では今、全ての世代において人口が増加しています。特に、港区生まれの子どもたちが増えています。平成26年の港区の合計特殊出生率(女性が一生のうちに出産する子どもの平均数)は1.39となり、東京23区で最も高くなりました。港区内に子どもの声があふれていることはとても嬉しいことです。これからも、待機児童対策や先駆的に推し進めてきた港区ならではの子ども・子育て支援施策を、全国のモデルとなるよう、さらに充実させてまいります。

そして、世界でも類を見ない長寿社会を迎え、高齢者の皆さんが住み慣れた地域でいつまでも安心していきいきと暮らしていけるように、区は、医療・介護・保健・福祉等に関して専門知識を有する関係者や地域の関係機関等と連携して、港区にふさわしい地域包括ケアシステムを築いてまいります。

今年の4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行されます。区は、障害を理由とする差別の解消に取り組み、障害の有無にかかわらず、誰もが等しくかけがえのない個人として尊重される地域社会の実現を目指してまいります。

港区は、昭和22年3月15日に、それまでの芝区、麻布区、赤坂区の旧3区が統合して誕生しました。平成29年3月に区政70周年を迎えます。今年の4月以降、数々の記念事業を実施し、記念すべき70周年を区民の皆さんと共に区を挙げてお祝いしたいと思います。

国では、将来にわたって「活力ある日本社会」を維持していくため、「地方創生」を進めています。区はこれまで商店街同士の交流や間伐材利用等について協定を結ぶなど全国各地の様々な自治体と交流を深めてまいりました。お互い

が持つ地域資源やまちの魅力を生かしながら交流・連携を強化することで、港区と全国各地の自治体がともに成長・発展していくことを目指すとともに、区民の暮らしをより豊かなものにしてまいります。

平成18年4月に「区民に信頼され、より身近にあり、区民の誇りを創造する区政」の実現を目指し、「区役所・支所改革」を実行してから10年がたちます。区は今後も「参画と協働」により築いてきた区民の皆さんや地域との強い信頼関係のもと、活力と魅力に溢れ、多様な人や文化が共生する「区民一人ひとりが誇りに思える成熟した国際都市」の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

新しい年が皆様にとりまして輝かしい、幸多き一年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

港区長

武井雅昭

区の手続きや施設・催し物のご案内は **みなとコール** へ ☎5472-3710 年中無休 午前7時～午後11時

「広報みなと」は新聞(朝日・読売・毎日・日本経済・産経・東京)折り込みです。区の施設や、郵便局(赤坂・一ツ木通・麻布・芝・芝公園・新橋・高輪)、公衆浴場、区内のJR・地下鉄・ゆりかもめの駅、新聞販売店等に置いてある他、希望する区民の皆さんに配達しています。また、「点字広報」、「声の広報」も発行していますので、ご利用ください。

「広報みなと」は、港区ホームページ(<http://www.city.minato.tokyo.jp>)でもご覧いただけます。

